あきらめずに努力を…

ロック歌手になりたい!!占って

Q いま、ガソリンスタンドに勤めているんですが、将来は絶対にロックの歌える歌手になりたいと思っています。それで、名古屋のタレント養成所に歌を週一回習いにいってるんです。もう一年ちょっとたつのに、何の変化もないし、すごく上がり性なのも直らないの。でも、絶対ロック歌手になりたいんです。必死でレッスンしてるんですけど、私の人生はどうなるのか占ってほしいのです。

（岐阜県土岐郡　女子従業員　20歳）

A まず私の告白を聞いてください。音楽の何たるかも知らないで、本気で作曲家になりたいと思っています。

小学生の時、私は「作曲家」になりたいと思っていた。どうすれば成れるのかを、図書館に通って学ぼうと真剣になった。大マジメであるさえした。

中学生になると、今度は「作家」になりたいと思うようになった。

流行作家ではない。どうか笑わないでほしいのだが、文学全集に名を連ねる、あの漱石とか鷗外とか、谷崎潤一郎や川端康成と同じ意味での純文学作家である。

三十歳を過ぎて、いま私は、そのどちらもなっていないが、なれなかった悔しさがあるかと言われ、まるでないのである。

ただ、これだけは言えるはずだ。あのころ、自分は「こうなりたい」という夢も現実に生活できたら、私の者者日々はうんと楽しかったこと――二十歳のあたし、いくらもラリアム（大人になること）を拒否する考え方」の時代であっても、世の中のことが少しはわかっているはずだ。

歌手と言えば、趣味と言う。職業としての歌手、つまりお金を稼ぐ「歌手」を目指しているんだと思う。

「どうしても歌手になるんだ」という思いの重さは、ガソリンスタンドに勤めながら、週一回のレッスンに通う熱意から千分に察することができる。

信念です。「固い信念、岩も通す」という格言もある。信念を持つことは素晴らしいことだ。

それは、占いの結果を証しげようと、歌がなぜなら、あきらめないことだ。輝くスターになれるかという問題に体が最終目的ではなく事業や

さあ『歌の求道者』へ

イラスト・所ゆきよし

竹村亞希子

☆★☆

【お願い】日ごろの生活での悩みごとをお寄せ下さい。回答者は共藤ゆき（タレント）竹村亞希子（易学者）斎田正（CBC論説委員）主屋隆（名古屋東栄クリニック院長）早川律子（名大分院皮膚科見）の5氏です。質問は簡潔に200字程度。匿名掲載ですが住所、氏名、年齢、職業を明記の上、〒460―11名古屋市中区三の丸1ノ6ノ1、中日スポーツ「ひらめきQ&A」係へ。

障害者に不親切な街

おくさま読本

障害者と健常者が共理解しあいながら、より人間らしく生きられる環境づくりをする、というボランティアグループが清水市にある。先週の日曜日、その人たちが育人十数人のお世話をしに、浜松の街へ繰り出れてくれる設備もあるのではないかというのだ。

行くから取材をしてほしいと依頼があった。浜松の街が果たして彼らにとってスムーズに歩ける街なのかかを実際に試してみようという趣旨で、三匹の盲導犬と、二人の盲人に二人のボランティアがついた三十九人、三グループに分かれて、駅をスタートして街へ出て行った。私もイトらしい。

JR浜松駅前は昨年三月から急発展をみせ、名鉄ホテル・JR東海メイ・ワン、遠鉄百貨店の新ビルがめじろ押しである。近代建築ならも、もしかして彼らが楽しく歩ける街になるのかもしれない。

ヨーカドーから銀座街（出るターム口、カメラをぶつ）。

彼らの初の失敗は、JR駅にあった。盲人への合図の鐘が二十秒ごとに鳴るはずが、電気代の節約が、時々切ってある。点字表内板もしかたがない。駅員の言いわけは、カバの石がモノがいいので美観を損ねるから多くはつけられないとのこと。エスカレーターも設置ない。指示板がないから、いつ転落するかわからない。

無論、駅から街へ出る方向指示はここにもあり様しなかった。

イトーヨーカドーに入った。盲導犬の足がそで前進しなくなった。ツルルの床ツルツルで滑りつ動けないのだ。犬は感じまって、必死にもがき犬にを誘導するのだが、わたしはくそのツは空回りするばかりで、カチカチと弱々子の悲しい鳴き声が、いまも私の耳に聞こえる。

宍地　豊（月刊「浜松百論」編集長）

少ない点字案内板
滑る床、進めぬ盲導犬

いきいき倶楽部

毎週水曜日掲載

みんなコミュ

☆生活が一度の通い

サラリーマン対自営業者は自営業者、OL対主婦は主婦の方がそれぞれ生きがい度が高い。健康診断サービスをしているライフチェッカー社が、四千人以上の成人男女を対象にした「健康危険度の特別比較」の中で、こんな分析をしている。

「最近、カ月、いつも生きがいを感じて過ごしたと回答したのは自営業者一五・二％、サラリーマン二・〇％、主婦は二・二％、OLは六・一％。自分の趣味が取れ、家族に大切にされ、子供や夫の世話ばかりで家族から煙たがれている主婦の方が生きがいがあることらしい。

【松阪駅本店】心身障害者作品展売会（福祉の店）9・14日。名古屋・栄の同本店の時特別展。授産製品の製作実演、相談・受往コーナーなども開催。

作品を通して自分自身を創造しない人間は、人生の充実感に欠ける。髪命になって努力することは、必ず、近い将来大いに生きてくるはずだ。頑張ってほ

（「占いの王手箱」社長）